



1. (1)

人権尊重の教育推進

- ・人権意識セルフチェックと不祥事防止標語のブラッシュアップ。
- ・意識の低い項目を学年で共有し、指摘し合える集団づくり。

1. (2)

心身の健康を守る教育の推進

- ・体制変更に対応し、看護師が医療的ケアを実施する体制整備。
- ・アレルギー・医ケア等「個別の緊急時対応表」を都度更新。担任・保健室・病院の段階別活用。

1. (3)

危機管理体制の強化

- ・備蓄食ローリングストック法で消費更新。備品室運用の周知。
- ・避難所設営訓練の実施。避難経路の安全対策と複数化。
- ・個人用避難袋の更新。災害時予備通信フォームの保護者への周知と試行。

2. (1)

質の高い授業実践

- ・学部間 1 日出張制度。フリースペースでの意見交換促進。
- ・ルーブリック評価表や交野マトリクスの活用、3 観点別学習記録の工夫で指導計画の充実。
- ・授業者支援会議システムで小グループでの研究体制試行

2. (2)

自立活動の充実

- ・摂食指導、姿勢・動作改善、支援機器に関する知見を個別の指導支援に活かす体制づくり。
- ・自立活動 6 区分に即した実態把握、目標設定、実践、評価による実践、効果をまとめる。

2. (3)

ICT 機器活用とオンライン教育の充実

- ・電子黒板、タブレットの活用。訪問教育を含めた遠隔授業など多様な学びの模索と充実。

本年度の取組み内容

1. 安全安心を守る力の向上

～児童生徒の心身の健康と人権を守り、安心・安全に学べる学校～

中期的目標

3. 協働する力の向上

～教職員が学び合い、情報共有の上で多彩かつ柔軟な組織運営ができる学校～

児童生徒・教職員の学び合いと「つながる笑顔」、
「個を活かし合える多様性社会」に向けて期待と夢を育む「港」となる学校

めざす学校像

2. 授業実践力の向上

～児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた質の高い授業実践ができる学校～

中期的目標

4. 社会と繋がる力の向上

～児童生徒・教職員が自分らしさを発揮（キャリア発達）しつつ、使命感を醸成する学校～

本年度の取組み内容

3. (1)

教職員の組織的専門性の向上

- ・パートナーシップの発揮。初任者に対するチューターとメンター制の導入。OJT の充実。
- ・交野マトリクスと専門性チェックシートの活用の工夫と検証。

3. (2)

教職員の働き方改革の推進

- ・19時退勤。会議の出席者や研修の精選、日程調整の工夫。行事と業務手順の見直し、時間短縮。断捨離、整理整頓により情報等の探索時間短縮。

4. (1)

交流及び共同学習の充実

- ・直接交流が難しい場合、DVD、Web 会議システムなどを活用しながら相互理解を深め、実践を HP にも発信。

4. (2)

地域に開かれた学校作り

- ・地域住民や調理・バス乗務員などとの交流を企画、活性化。
- ・地域支援終了後、効果的なフィードバック・フィードフォワード実施。
- ・近隣高校教員との連携。

4. (3)

キャリア教育の充実

- ・学部間きょうだい学級を軸とした取組み。保護者向け進路情報発信。進学する学部の体験授業複数回実施。
- ・作品展の参加、児童生徒会活動など表現活動の活性化。

